

第1回調査分析部会 議事録

1. 日時：平成25年3月27日（水） 15：00－17：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木部会長代理、秋山委員、五百木委員、磯部委員、城山委員、橋本委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、山田宇宙戦略室参事官、深井宇宙戦略室参事官、國友宇宙戦略室参事官

4. 議事録

西本室長より、以下のような挨拶があった。

- ・本年1月に宇宙開発戦略本部が開催され、新たな宇宙基本計画が本部決定された。
- ・新たな宇宙基本計画の中で、今後調査検討が求められている事項について、宇宙政策委員会として対応すべく、いくつかの部会を立ち上げていただいているところ。
- ・新たな宇宙基本計画においては、宇宙開発利用に関する政策の企画立案に資するため、宇宙政策委員会等の情報収集、調査分析機能を強化することとされている。
- ・本部会で国内外の動向、科学技術等の動向についての総合的な情報収集・分析を行っていただきたい。

委員から自己紹介が行われ、中須賀部会長より、部会長代理として青木委員が指名された。

(1) 内閣府における新たな宇宙開発利用の推進体制について
事務局から資料3に基づいて説明を行った。

(2) 海外主要国の宇宙政策及び宇宙開発利用の動向について

(3) 調査分析部会の今後の検討の進め方について

上記の議事について、事務局から資料2、4、5に基づいて説明したところ、以下のよう
なやりとりがあった。(以下、○委員発言、●事務局発言)

(検討の進め方について)

○関係省庁等がそれぞれ持つ情報をどのように集約化していくかが課題。実動部分はJAXAの貢献が大きいと思うが、宇宙戦略室がデータベースの主体となることも重要。(秋山委員)

●既存の情報で散在しているものを収集、整理し、使い易い形にしていくというのは重要な視点と考える。(山田参事官)

- 宇宙政策委員会の他の部会とも適宜連携することや他の部会の議論に資するような情報収集、調査分析を行うことも重要である。(中須賀部会長)
- 連携する上で、他の部会との棲み分けにも注意する必要がある。(磯部委員)
- マクロの視点とミクロの視点を両方意識しながら、この部会では、個別のアクションに終わらない、総合的なプロセスを示せるような議論をするべき。(五百木委員)
- 我が国における情報収集、調査分析機能の在り方について議論し、この一年で方向性を出すことがこの部会で求められていること。実際に情報収集、調査分析を行う中で、そのような議論も深まると考える。(渡邊委員)
- 在り方について一年で目鼻がついたら、二年目以降はそれを基に我が国として何らかの仕組みを作り、恒常的に続けることが重要である。(橋本委員)
- 在り方を明確化し、この部会が1年で終わっても最終的に我が国にしっかりとした仕組みを根付かせることが重要である。(中須賀部会長)

資料5「調査分析部会の今後の検討の進め方(案)」については、部会として了承された。

(4) 情報収集、調査分析の論点について

城山委員、秋山委員からそれぞれ資料6、7について説明したところ、以下のような意見があった。

- 情報収集、調査分析を行う上での方向性や目的意識が重要である。百科事典を作ろうとするとこの種の話は失敗するため。(城山委員)
- どういう目的で情報収集、調査分析を行うのかという解像度を高くしていかないと実際のデータ集めも難しくなる。(青木委員)
- 百科事典を作るのではなく、焦点を絞ることが重要である。どういう切り口で何を切り取るのかといったこともこの場で議論していただきたい。実際に我が国の宇宙政策の企画立案に資する有益な情報収集、調査分析を行わないといけないと考える。(西本室長)
- 米国ではジョージワシントン大学宇宙政策研究所、欧州では欧州宇宙政策研究所というものがあり、そこでは、関係者間のネットワーク形成を通じた生きた情報収集が行われている。日本版でそのようなネットワークを形成できると良いと考える。有識者や関係者が情報交換、意見交換を行える場をつくることも実質的な調査分析機能という意味で重要である。(城山委員)
- 宇宙政策の研究者のような人材の形成をどうするかということも1つの課題である。(城山委員)

- 1次情報である海外文書を翻訳により正確な日本語として持つておくことが下地として重要である。(青木委員)
- 宇宙政策法文書の日本語と外国語(少なくとも英語)の対訳を政府や関係機関が整備していくことも含めて、情報収集、調査分析の結果を整理・蓄積し、適宜参照できるようにすることが重要である。(渡邊委員)
- 今後のしっかりとした仕組み作りのためには、予算も含めて考えていかないといけない。今年度は重要なテーマについて委員や関係機関が持ち寄って情報収集、調査分析するのが良いのではないか。(城山委員)

(5) その他

事務局より、4月の開催については予定通り開催する旨連絡があった。

以 上